

# 福島県いわき市での 地区防災計画の先行的 取組み



宇治田 和

防災まちづくりのコーディネーター ランドブレイン株式会社

## 福島県いわき市



いわき市は、福島県の東南端、茨城県と境を接する、広大な面積を持つまちで、東は太平洋に面しているため、寒暖の差が比較的少なく、温暖な気候に恵まれた地域です。

地形は、西方の阿武隈高地（標高500から700メートル）から東方へゆるやかに低くなり、平坦地を形成し、夏井川や鮫川を中心とした河川が市域を貫流し、太平洋に注いでいます。

人口  
342,775人

世帯  
143,003世帯

面積  
1232.02平方キロメートル

位置  
北緯37度03分02秒、東経140度53分16秒  
(平成30年11月1日現在、いわき市ホームページより)

# 行政・住民の連携による事業



地域住民や地元関係団体等が防災の視点を交えて行う話し合いや地域で行う「まちあるき」、並びに「地区ハザードマップの作成」などを2か年のスケジュールでワークショップ形式によって進めました。また、実施にあたっては、平成27年度には地区ハザードマップの作成、平成28年度には地区防災計画を策定しました。

(いわき市ホームページより)

3

# 取組みの過程

回		取組み内容
1年目 マップづくり	第1回	【話し合い】 地区の課題、3.11の経験・教訓の共有（一部異なる）
	第2回	【地図作業】 地区の課題を地図で共有
	第3回	【まちあるき】 まちあるき
	第4回	【地図作業】 マップづくり（地区の情報を地図に整理する）
	第5回	【地図作業】 マップづくり（掲載情報のアイデア出し、校正）
2年目 地区防災計画 づくり	防災まちづくり 活動発表会	【発表会】 1年目の活動の地区内全体での報告 地区ハザードマップのお披露目
	第6回	【訓練・話し合い】 「もし大雨が降ってきたら…」 自分・家族・地域でできることを考える
	第7回	【学習】 地区防災計画を学ぶ 訓練を通じたイメージづくり
	第8回	【話し合い】 防災訓練の準備
	第9回	【訓練】 防災訓練の実施
第10回	【話し合い】 地区防災計画案の作成、今後の活動計画の検討	

4

# 取組みの状況

## 第1回

地区の課題、  
3.11の経験・  
教訓の共有



**3. 意見交換**

■これまでの経験の共有

- ①東日本大震災での被害、ご経験を黄色の付箋紙に記入してください。付箋紙1枚につき1つの内容をお願いします。
- ②その他大雨の際での被害、ご経験を白色の付箋紙に記入してください。

断水が続き、給水車からの運搬に苦痛  
道路に障害、自動車の通行に支障  
停電、断水、テレビが入らず  
大雨で道路が真っ白で不安を感じた



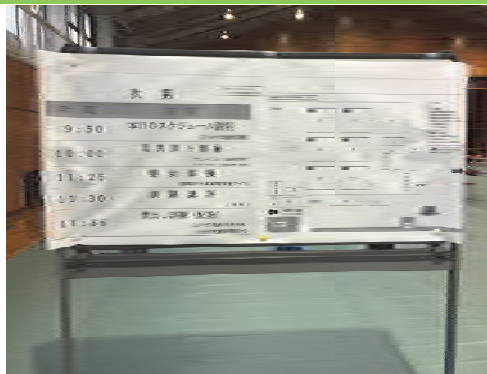
5

# 取組みの状況

## 第1回

(一部地区のみ)

市総合防災訓練への参加





# 取組みの状況

## 第2回

地区の課題を  
地図で共有

3. 地域の強み・弱みのマップ上での整理

■まちの構造を確認しましょう

- ①主要な道路（国道、バス道、車が多く行き交う道路等）を茶色の太線でなぞってください。
- ②河川・水路等を探して、濃い水色でなぞってください。
- ③オープンスペースを緑色の線で囲んでください。公園、神社、緑、広場、大きな駐車場等

13



7

# 取組みの状況

## 第3回

まちあるき

まち歩きの確認場所とルート【別紙で大きい図参照】

7



8

# 取組みの状況

## 第4回

マップづくり  
(地区の情報を地図に整理する)

**3. 地区の防災上の課題の整理**

■まちの資源の確認・追加の内容・表示

①公共施設・防災施設【位置、リストの内容を確認】

②重要な施設・設備【位置、リストの内容を確認】  
避難所・避難場所、公共施設・防災施設、消火栓、防火水標、農圃、公衆トイレ・集積、工場・農機・配達トラック所有企業等

■まちの危険箇所の確認・追加

①災害時に危険となりうる施設や場所【位置、リストの内容を確認】【追加の場合、付箋紙に内容を記入】

②避難時に危険な道路や、道幅が狭くて消防車が入れないような路地・狭い道路等【位置、リストの内容を確認】【追加の場合、付箋紙に内容を記入】

15



9

# 取組みの状況

## 第5回

マップづくり  
(掲載情報のアイデア出し、校正)

**平江城跡地区ハザードマップ**

**3. ハザードマップの作成（表面）**

■確認作業①

①特に「主な公園・広場・施設等」（黒色）で、  
・名称はこれでよいのか（色が知っている名称等はないか）  
・他に掲載した方がわかりやすいものはないか？  
②特に「その他注意箇所」（黄色）で、  
・他にも掲載して共有すべき箇所・内容はないか？  
③誤字・脱字等  
※作業を進めている他の2地区での案とも比較して下さい

19

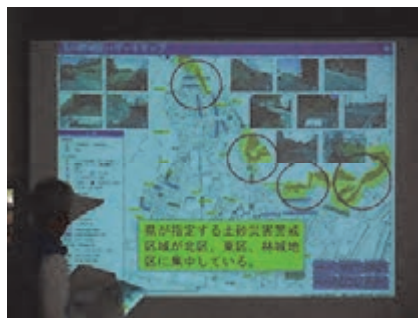


10



# 取組みの状況

防災まちづくり  
活動  
発表会

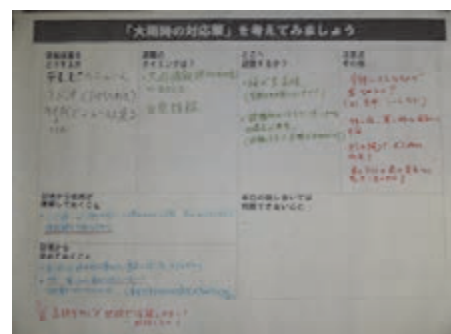


11

# 取組みの状況

第6回

「もし大雨が  
降ってきたら  
…」  
自分・家族・  
地域でできる  
ことを考える

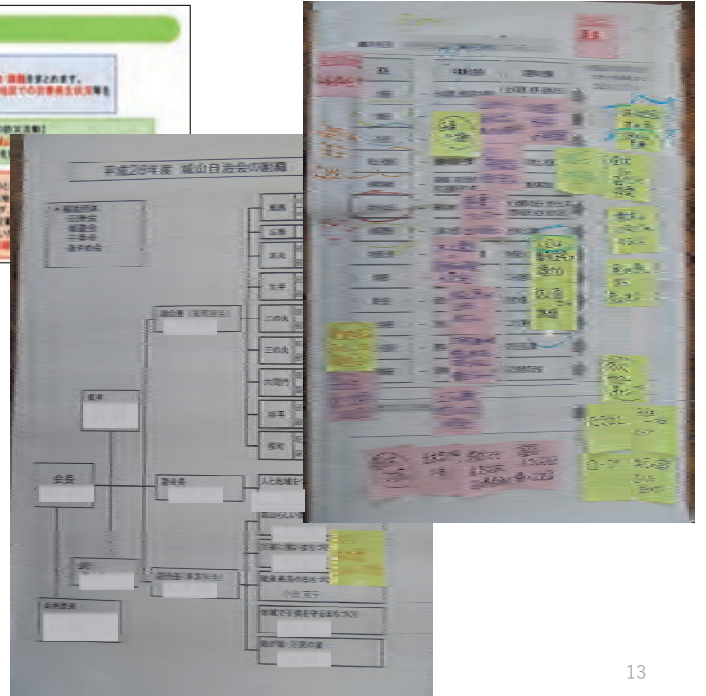
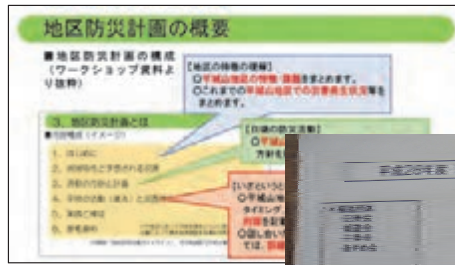


12

# 取組みの状況

## 第7回

### 地区防災計画を学ぶ



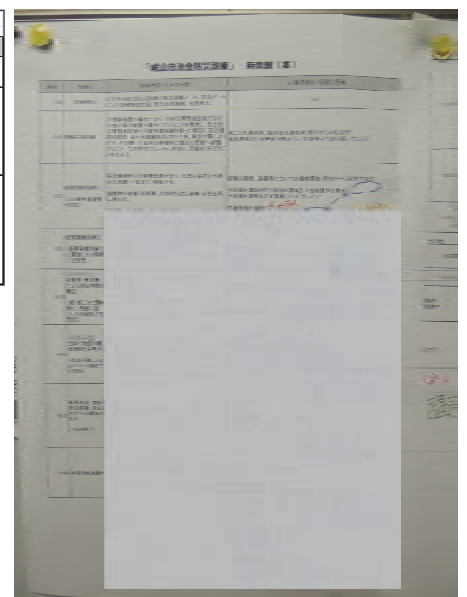
13

# 取組みの状況

## 第8回

### 防災訓練の準備

「城山自治会防災訓練」 時間割 (案)			
時刻	訓練名	訓練内容(人々の行動)	必要資機材・役割分担等
8:30	(訓練開始)	いわき市総合防災訓練の緊急連絡メール、防災メールにより訓練開始合図(緊急地震速報、地震発生)	なし
8:32	情報伝達訓練	大規模地震の発生により、土砂災害警戒区域ではがけ崩れ等の被害が発生していることを想定し、各土砂災害警戒区域での緊急連絡網を通じて相互に緊急連絡を電話、または避難時のドアたたき、声かけ等により行う。その際、①本日は便宜上城山公民館へ避難する。②各家庭のリーダーを呼び、戸締まりを行って伝える。	組ごとの連絡網、節の会の連絡網(既存のものを活用) 土砂災害発生時は両側用せりふを各自もって各自もってもらう
8:35	避難実働訓練	緊急連絡網での情報伝達を受け、住民は自宅から城山公民館へ(徒歩)移動する。 避難時の装備(防災具、非常持ち出し袋等)は各住民に委ねる。 誘導員が交通量の多い横断歩道に立ち、交通誘導を行う。	避難の服装、装備等についての事前周知(号外チラシ配布で対応) 土砂崩れ案内板(土砂崩れ看板)「人を配置する場合、土砂崩れ箇所を示す看板(ランドレイン)」 交通誘導の場所( ) 交通誘導員(ベスト着用者)( )



14

# 取組みの状況

## 第9回

### 防災訓練の実施

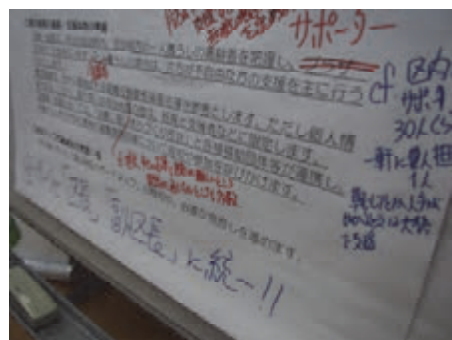
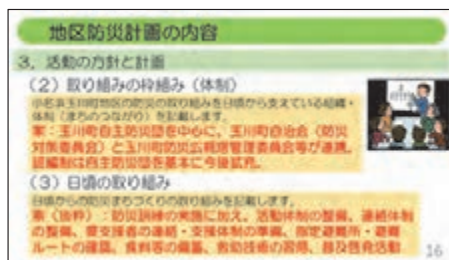


15

# 取組みの状況

## 第10回

### 地区防災計画案の作成、今後の活動計画の検討



16